# エンジニア基礎 01日目

**概要**

|  |  |
| --- | --- |
| **日程** | 2023年4月10日（首都圏エリア）  2023年4月5日（地方エリア） |
| **学習内容** | 学生と社会人の違い、社会人としての心構え、7つの習慣（社会人としての考え方、目標管理、時間管理、コミュニケーション基礎） |
| **学習目標** | プロフェッショナルがどんな価値を提供しているか、ワークを通して理解した  ７つの習慣の「約束」について知っている  効果性の「ルーツ」と「人格主義」との関連について理解した  成長の連続体の「依存・自立・相互依存」の３つの段階を説明できる  習慣を変えるためには「パラダイムシフト」しなければならないことを理解した  影絵のワークを通して「パラダイムシフト」は少しのきっかけで起きることを理解した  「主体的である」ことの効果性について説明できる  「影響の輪と関心の輪」について意識の向け方を理解した  「すべてのものは二度作られる」という言葉の意味について理解した  研修期間中のミッションステートメントを記述できた  スティーブ・ジョブズの言葉から自分の才能や情熱を見つけていくことや経験を積んでいくことの重要性を理解した  時間管理のマトリクスに基づいて優先順位をつける方法を知っている  信頼口座の預け入れ例、引き落とし例を知っている  lose-winの関係と感じる時の対処法・考え方を理解した  傾聴の５段階と聞き方のテクニックを理解できた  「口の字」ワークを通してシナジーを生み出すためのポイントを理解できた  自分自身の「刃を研ぐ行動」を挙げられた  研修中に「貢献」したいことに意識を向けられた |
| **教材URL** | 【カリキュラム別資料リンク一覧】  <https://tis-3sss.backlog.jp/alias/wiki/1070511> |

**スケジュール**

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 09:00 ～ 09:50、10:00 ～ 10:50 |
| **学習内容** | ・学生と社会人の違い |
| **学習目標** |  |
| **教材** | 「7つの習慣」研修\_講義用スライド\_2020年度新人研修\_1.3.pdf |
| **講義範囲**  **（章、節）** | ・どんなプロフェッショナルを思い浮かべる？  ・プロフェッショナルが提供する「価値」  ・プロとアマチュアの違い  ・学生から社会人 |
| **ページ番号** | P5 ～ 22 |
| **省略** |  |
| **備考** |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 11:00 ～ 12:00、13:00 ～ 13:50 |
| **学習内容** | 社会人としての心構え |
| **学習目標** |  |
| **教材** | 『7つの習慣 For 新人ITエンジニア』  「7つの習慣」研修\_講義用スライド\_2020年度新人研修\_1.3.pdf |
| **講義範囲**  **（章、節）** | 1.  ・組織人とは  2.  ・自分が提供する価値は？  ・プロフェッショナルを目指す  ・期待・ニーズに応える  ・組織人 |
| **ページ番号** | 1. P2  2. P23 ～ 43 |
| **省略** |  |
| **備考** |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 14:00 ～ 14:50、15:00 ～ 15:50、16:00 ～ 16:50、17:00 ～ 17:30 |
| **カリキュラム表記** | 7つの習慣（社会人としての考え方、目標管理、時間管理、コミュニケーション基礎） |
| **学習目標** |  |
| **教材** | 『7つの習慣 For 新人ITエンジニア』  「7つの習慣」研修\_講義用スライド\_2020年度新人研修\_1.3.pdf |
| **講義範囲**  **（章、節）** | 1.  ・「7つの習慣」の約束  ・「成果価値」を出すために～効果性のルーツ  ・成長の段階  ・成長の連続体  ・パラダイム  ・パラダイム転換  ・第1の習慣 主体的である  ・第2の習慣 終わりを思い描くことから始める  ・第3の習慣 最優先事項を優先する  ・第4の習慣 Win-Winを考える  ・第5の習慣 まず理解に徹し、そして理解される  ・第6の習慣 シナジーを創り出す  ・第7の習慣 刃を研ぐ  ・決意表明  2.  ・「7つの習慣」の約束  ・「成果価値」を出すために～効果性のルーツ  ・See-Do-Getサイクル、パラダイム  ・パラダイム転換  ・第1の習慣 主体的である  ・第2の習慣 終わりを思い描くことから始める  ・第3の習慣 最優先事項を優先する  ・第4の習慣 Win-Winを考える  ・第5の習慣 まず理解に徹し、そして理解される  ・第6の習慣 シナジーを創り出す  ・第7の習慣 刃を研ぐ  ・決意表明 |
| **ページ番号** | 1. P2 ～ 34  2. P44 ～ 274 |
| **省略** |  |
| **備考** | P27 傾聴の5つのレベルに記載されている図内の「1.無視する」～「4.注意して聞く」の横に記載されている矢印に記載されている「相手の見地に立って聴く」は誤植になります。正しくは「自分の見地に立って聴く」になります。  ※当講義で使用する資料はフランクリン・コヴィー社のものになり、弊社では資料の修正ができません。 |

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 17:30 ～ 18:00 |
| **学習内容** | 業務報告書作成 |
| **学習目標** |  |
| **教材** |  |
| **講義範囲**  **（章、節）** |  |
| **ページ番号** |  |
| **省略** |  |
| **備考** | ノートに日報（下記項目）を記述するように指示する。  ・理解できたこと  ・理解できなかったこと  ・所感   * なお、ノートに記述した日報の内容は、Java研修1日目の総括でLMSに転載して提出する。 |